

健康と美容に
弘前りんご
毎月5日は
「りんごを
食べる日」

★ ★ ★ 農業ひろさき ★ ★ ★

2009年1月1日 (第35号)
(平成21年1月1日)

編集と発行
弘前市農業委員会
弘前市賀田1丁目1の1
☎(0172) 82-1638

印刷 (有) 新和印刷

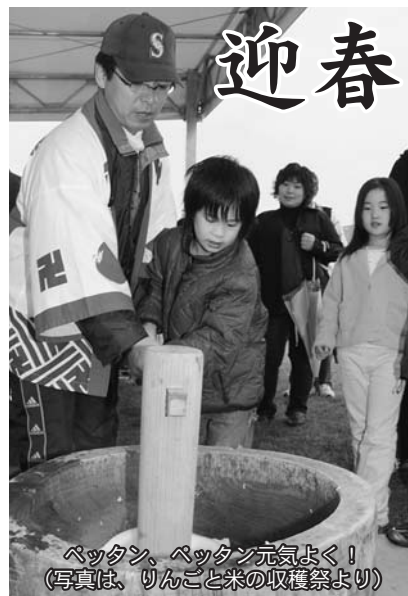
ひろめよう! 地元の食と農

りんごと米の収穫祭が開かれる。

地元農産物の消費拡大とPRを目的にした「りんごと米の収穫祭」が11月16日、市内清水富田の弘前市りんご公園で開かれました。りんごや米など新鮮な農産物と加工品の販売のほか、餅つきやりんご皮むき大会など多彩な催しが行われました。



当日は小雨がちらつく空模様となったものの、りんごや米をはじめ、白菜や大根、漬け物など地元で穫れた農産物や加工品が並んだ販売コーナーには大勢の人が訪れ、目当ての品を探したり試食をしながら買い求めていました。



ベッタン、ベッタン元気よく!
(写真は、りんごと米の収穫祭り)

写真上：格安で販売された農産物や加工品を買い求める人たち。

写真下：「いつも家では自分でむいているよ」お母さんが見守りながら、大人に交じってりんご皮むき大会に出場した児童。賞品を手に入れることができたかな。



また、小麦の高騰や食料自給率の向上などから注目されている米粉を使ったパンの無料配布には、長い行列が出来ていました。恒例の餅つき大会では子供たちが餅つきを楽しみ、つき上がった餅はきなこ餅として振る舞われたほか、りんご皮むき大会や二百人が参加したビンゴ大会には、公園レストランの新メニュー「りんごラーメン」の食事券やひょう書りんごを使用したりんごジュースなどが賞品として用意され、参加した人たちにぎわってました。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、昨年の本市農業を顧みますと、三月中旬以降に高温の日が続く影響が一挙に進みりんごへの影響が懸念される中、四月から六月にかけての降霜、降ひょう、さらに九月下旬の降ひょうによりりんごに大きな被害を受けました。

また、主力品種のふじではツル割れが多く、りんご生産者にとっては残念な年となりましたが、米は平年並みの収穫量を確保することができました。

このような中、米価は低迷が続いているほか、りんごについても低価格で取引され、さらには生産資材価格の高騰など農業経営は、依然として厳しいものがあります。

国際的な穀物需給の逼迫という状況の中で、今後の日本の農業・農村を守り、食料自給率を向上させ国民へ安全・安心な農産物を安定して供給して行くために

は、再生産可能な農産物価格を形成し安定した農業経営の確保を図ることが必要であると思っております。

当農業委員会としましては、当市農業の更なる発展を図り食料自給率を向上させるためには、地域農業の担い手である認定農業者の育成・確保が重要であり、引き続き認定農業者の掘り起こし活動に積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

今後も、農業者と農村を代表する唯一の公的機関として、農業経営の安定と向上のため、関係機関に対する要請活動をこれまでにも増して充実させ、地域農業者の世話役としてその信頼と期待にこたえていく所存であります。

本年も当農業委員会活動に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって良い年でありますよう祈念申し上げます。

定して供給して行くために

は、再生産可能な農産物価格を形成し安定した農業経営の確保を図ることが必要であると思っております。

当農業委員会としましては、当市農業の更なる発展を図り食料自給率を向上させるためには、地域農業の担い手である認定農業者の育成・確保が重要であり、引き続き認定農業者の掘り起こし活動に積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

今後も、農業者と農村を代表する唯一の公的機関として、農業経営の安定と向上のため、関係機関に対する要請活動をこれまでにも増して充実させ、地域農業者の世話役としてその信頼と期待にこたえていく所存であります。

年頭にあたって

弘前市農業委員会
会長 横沢由春



本年も当農業委員会活動に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって良い年でありますよう祈念申し上げます。

産地直売野菜工場 推進マーケティングセミナー 開催について

安定生産、安定供給が可能である人工光を活用した植物工場での野菜生産システムの栽培技術や品質管理、マーケティングのセミナーが開催されます。ふるってご参加ください。

- ◆日時…平成21年2月14日(土) 午後2時～午後5時
- ◆場所…弘前商工会議所(上鞆師町18-1)
- ◆対象…農業従事者のほか、新規創業や新分野の進出、事業拡大を目指している事業主
- ◆募集人員…20人 ◆受講料…無料
- ◆締切り…定員になり次第締切り
- ◆内容…「植物工場セミナー初級編」と題しての講演
- ◆講師…嶋村茂治(しまむら しげはる)氏(株式会社みらい代表取締役)
- 申込み・問い合わせ先
弘前市雇用機会増大促進協議会事務局
(☎・FAXとも32-6267)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

Valentine's Day Cocktail & Wine Party

～バレンタインカクテル&ワインパーティー～

参加者募集のお知らせ

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



素敵な出会いはここから始まる・・・
特に女性の参加者を心よりお待ちしております。

と き:平成21年1月31日(土)午後6時30分～
と ころ:弘前パークホテル(土手町)
13階スカイバンケットルーム「ステラ」

内 容:カクテルとワインと料理を楽しみながらの交流パーティー。今回は、バレンタインにちなんでチョコレートファウンテン(チョコレート噴水)も登場します。

参加料:男性3,500円 女性2,000円

参加資格:おおむね23歳～45歳までの独身男女

(ただし、男性は市内に居住する農業青年)

定 員:男女各20名程度 申込締切:平成21年1月23日(金)

※男性参加者は、実行委員を優先させていただきます。

申込先:弘前市青年交流会実行委員会(農業委員会内)
☎82-1638 メール nougyou@city.hirosaki.lg.jp

② 農業者年金制度

認定農業者制度
協定の締結により、夫婦や親子での認定農業者の共同申請を認めています。

◆家族経営協定に関する制度的メリット:
①認定農業者制度
協定の締結により、夫婦や親子での認定農業者の共同申請を認めています。

◆家族経営協定に関する問い合わせ先

農業委員会事務局農政係 ☎82・1638
中南地域農政局地域農林水産部普及指導室
☎34・2136

認定農業者などで青色申告を行っている者と協定を締結している配偶者や後継者が、一定の要件を満たすことで、農業者年金の基本保険料(2万円)の一部について国庫助成を受けることができます。



開会に続いて農業委員憲章を唱和する委員

第52回 青森県農業委員大会

第52回青森県農業委員大会が11月20日、むつ市で開催されました。世界的な食料需給の逼迫や穀物価格の高騰を受け、国内の食料安全保障の確立に関する要望など三議案が提案され、いずれも原案どおり決議されました。

食料自給率の向上と 危機に瀕した農業・農村の 再生をめざして

今大会における決議事項は、①「食料安全保障の確立と農業農村の再生に向けた要望」②「新たな農地政策の確立と農業委員会体制の強化に関する要望」③「新・農地と担い手を守り活かす運動」の推進に関する申し合わせの三つです。

①は、食料自給力の増進を図るため、水田の有効利用やミニマム・アクセス米の見直し、認定農業者等担い手に対する支援体制の充実、農地・水・環境保全向上対策などの強化を求めるものです。

②は、農地政策見直しの動きを見据えて、農地の所有と利用に関する権利者の責務の明確化、農地の総量確保を図るため転用規制の厳格化や担い手政策と連動した権利移動規制の整備などを求めるものです。

③は、優良農地の確保と有効利用や担い手の育成など、地域の実情を踏まえた農業委員活動をより積極的に進めていくことを申し合わせたものです。

家族経営協定は、 みんなの夢を 実現するための道具です。

◆家族経営協定とは:
家族経営協定は、農業経営における家族の約束事を文書で取り決めたものです。協定を結ぶことでお互いの役割を確認することができ、家族一人ひとりの自覚と責任が一層強くなります。



それぞれの考えや夢について、家族みんなで話し合ってみましょう。

規模拡大に合わせ、役割や報酬なども決めてはどうかしら。

農地を増やし、規模をよつと思っただけ。

平成21年度「果樹経営支援対策事業」のお知らせ

果樹農家の
皆様へ

□国庫補助事業の果樹経営支援対策事業は、りんご等果樹の生産性向上を目的に、改植等を行なう方に対して一定の要件のもとに補助金を交付するものです。
来年度に補助事業の活用をお考えの方は、別表を参考に1月30日(金)までにお申込みください。

■申込み及び問い合わせ先…農協組合員の方は市内各農協、
組合員以外の方は市りんご農産課りんご係(岩木庁舎 ☎82-1636)

別表

事業内容 (実施期間：平成19～22年度)	補助率	主な採択基準	実施主体
1 優良品目・品種への転換(※1) (1)改植 ①りんごからりんご(わい化) ②りんごからりんご(普通樹) ③その他果樹 (2)高接ぎ(すべての果樹)	(1)①…定額 (32万円/10㌦) ②…定額 (16万円/10㌦) ③…補助率1/2 (2)補助率1/2	2㌦以上	産地計画で位置づけられた担い手農業者(※2)
2 小規模園地整備(すべての果樹) ①園内道の整備 ②園地傾斜の緩和 ③土壌土層改良	補助率1/2	①及び②…10㌦以上 ③…2㌦以上	
3 用水・かん水施設の設置 (すべての果樹)	補助率1/2	10㌦以上	
4 条件不利園地の廃園 ①りんご(わい化含む) ②その他果樹	①…定額(8万円/10㌦) ②…補助率1/2	2㌦以上で、廃園面積と同等以上の別な園地を担い手へ集積すること	産地計画内の農業者
5 特認事業 ①条件付きの植栽 ②防霜ファン ③防風網	補助率1/2 参考 ②…防霜ファン (64万円/10㌦) ③…防風網 (2.3万円/1㌦) (上記は平成20年度の上 限事業費ですが、平成 21年度に変更となる 場合があります)	①…産地で実施される上記4の廃園面積が上限です。 ②及び③…次の要件を全て満たすこと ア 面積は概ね10㌦以上、原則として1㌦未満とする。 イ 原則として果樹共済に加入している。(又は加入することが確実である。) ウ 産地計画上の振興品種が既に植栽されている。	産地計画で位置づけられた担い手農業者

(※1) 同一品種への転換は補助対象外であるが、りんごを普通樹からわい化へ転換する場合に限り、同一品種への転換でも補助対象となる。

(※2) 産地計画で位置づけられた担い手とは、①認定農業者、②農業所得が主で、主に農業に従事している60代までの者など、産地協議会が実情を踏まえて担い手と位置づけた農業者。

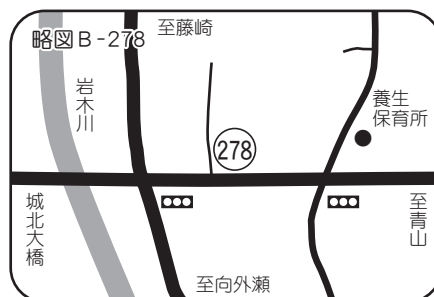
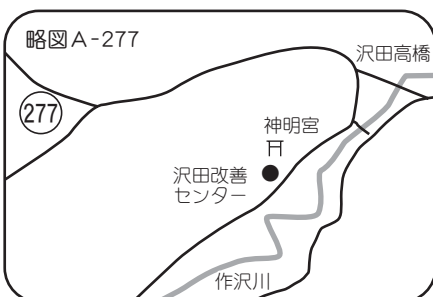
農地流動化情報 (新規)

■取扱窓口及び問い合わせ先

- ①農業委員会事務局(岩木庁舎1階) ☎82-1638
- ②農業委員会弘前分室(市役所新館2階)
☎35-1111 内線357
- ③農業委員会相馬分室(相馬庁舎2階)
☎84-2111 内線840

申出区分	略図	農地の所在	利用状況	面積	希望売渡価格	取扱窓口
売りたい	A-277	沢田字葛沢	更地	44.70a	交渉次第	①②③
	B-278	清野袋二丁目	雑果樹・更地	20.92a	交渉次第	①②
	C-279	中畑字沢田	水稲	21.22a	10a当35万円	

区分	希望地区	利用目的	面積	希望小作料・希望買受価格
買受・借受	船沢(弥生)・岩木	りんご・花き	買いたい…100a・借りたい…50a	交渉次第



近年続く異常気象に備えて



りんご共済

『被害限定補償』



21年産申込み受付中!

- 【対象となる災害】… 風害・ひょう害・凍霜害
- 【対象となる割合】… 2割～3割以上の被害から共済金が支払われます。(加入方式によって異なります。)
- 【掛金と補償額】… 申込みは箱数単位となります。
- ★掛金は1箱50～100円(『ふじ』の場合)
※品種・加入方式等によって異なります。
- ★補償額は1箱2,700円(『ふじ』の場合)
※品種によって異なります。

- 掛金の半分は国が負担!
- 防風ネットや防霜ファンがあればさらに割引!
- 3年間被害が無ければ掛金の一部を払戻し!

詳しくはひろさき広域農業共済組合まで ☎28-5700

(弘前市は、農業共済組合と連携して加入促進に努めていきます。)



(写真は昨年の模様)

第34回生活技術発表展に

お出かけください



弘前地区生活改善グループ連絡協議会(会長・清野優美子)では、農村女性と消費者が一堂に集まり、お互いの活動や技術を交換する「生活技術発表展」を開催します。

◆日時: 2月5日(木)

- 農の生け花展
- 農産物、加工品の販売
- ◆内容
- ◆場所: さくら野百貨店 弘前店4階文化ホール
- 午前10時～午後3時



郷土料理の実演もあります

◎特別企画コーナー

- りんごにこだわった作品展「りんごでスイーツ展」
- 心豊かに省エネエコライフ展示・実演
- 自然の素材を活かした体験(蜜ろうキャンドル、花炭のアレンジ)
- ◎みんなに伝えたい料理の実演・試食
- もち粉で簡単に作れる「大福餅」など

◆問い合わせ先 中南地域県民局地域農林水産部普及指導室 ☎34・2136

選挙人名簿 掲載申請書

提出をお忘れなく

農業委員会委員選挙人名簿は、毎年農家の皆さんの申請に基づいて調製されます。

この申請がない場合は、選挙資格があっても選挙人名簿に記載されず、農業委員会委員選挙の際に投票できなくなりますので、1月9日(金)までに忘れずに調査員の方に申請書を提出してください。

また、申請書が郵送された農家の皆さんは、農業委

全国農業新聞

暮らしと経営に役立つ情報が満載

- ◆ 全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が毎週発行する農業総合専門紙です。
- ◆ 購読の申込みは農業委員、又は農業委員会へお気軽にご連絡ください。
- ◆ 充実した農政解説とコンパクトなニュース
- ◆ 「担い手」の経営改善に役立つ
- ◆ 地域づくりのヒント・事例がいっぱい
- ◆ 食や健康など暮らしに関する話題が豊富
- ◆ 毎週金曜日発行 購読料 1か月600円
- ◆ 申込み・問い合わせ先 農業委員会農政係 ☎82・1638

員会事務局まで提出してください。(郵送可)

なお、申請書は平成20年12月中旬までに配付していますが、選挙資格がある方で、まだ届いていない場合は至急ご連絡ください。

◆問い合わせ先

【弘前地区】農業委員会弘前分室(市役所 ☎35・111内線357)

【岩木地区】農業委員会農地係(☎82・1638直通)

【相馬地区】農業委員会相馬分室(☎84・2111内線840)

謹賀新年



今年も充実した紙面作り
に心がけます。
ご愛読のほどよろしくお
願い申し上げます。

- (前列右より)
- 木原 金蔵 編集委員
- 下山 勇一 編集委員長
- 中田 安博 副編集委員長
- (後列右より)
- 山内 知人 編集委員
- 奥元 勝義 編集委員
- 前田 優考 編集委員